Toyosato 公民館だより
No.106 2月号
令和4年2月1日発行
豊里公民館 スマホで検索 公民館ホームページ

良い一年にと願いを込めて

公民館仕事納めの12月28日、公民館の玄関には、今年も二ツ屋老人クラブ（会長・及川英一さん）の皆さんから贈られた、手作りのしめ飾りが掛けられました。二ツ屋老人クラブの皆さん、毎年ありがとうございます。

今回は、しめ飾りがどのようにして作られているのか、その技を見せてもらおうと作業場へおじゃまさせてもらいました。

まずは、ワラの根元をぐるりと覆っている袴（ハカマ）と呼ばれる下葉を一本一本取る作業からです。これをきちんと取り除くことが、キレイな仕上がりにつながります。次にワラをそろえて束にし、縄に締めていきます。ひとつひとつ手作業で丁寧に作り上げられたしめ飾りには、熟練の技が光ります。

作業は10人ほどで分担して行っていますが、大小さまざま12種類を、去年はなんと3000本以上も作り上げました。

しめ飾りを作り終えた後には、新しい年が幸福で実り大きい年でありますようにと、心を込めて御祈祷が行われ、お正月に地区の皆さんの軒先や市内外の神社、そして公民館などに飾られました。

奥の釜神さまと一緒に。ご利益がありそうですね

しめ飾り作りの作業風景の写真と動画をホームページに掲載しています！
ぜひスマートフォンでご覧下さい。

まちの話題 投稿コーナー 8

町民の皆さんから募集している「あなたの素敵なお話きかせてください」。今回は、仲町にお住いの、るるままさん(ペンネーム)に「カラタチの木」への想いを伺いました。

羽ばたく蝶に思い出を重ねる

仲町・るるままさん

るるままさんのお宅の庭には「カラタチの木」が、冬でも青々と元気に育っています。カラタチはミカン科の低木で、枝には大きなトゲがあり、ゴルフボール大の黄色い実がなります。

種をまいて育てて１５年が経ち、今ではご自身の背丈を越え、2メートルほどに育ちました。植えたきっかけは、当時保育園児だった娘さんのためでした。

生き物が大好きな娘さんは、子どものころにアゲハチョウの幼虫を育てることにしました。アゲハチョウは柑橘類の葉を好んで食べるため、カラタチを植えました。おかげで幼虫は元気に育ちサナギとなり、やがて立派なチョウとなって舞いました。

それから毎年春先になると、アゲハチョウはるるままさんのカラタチの木に卵を産み、孵(かえ)った幼虫は葉を

食べて育つようになりました。「卵からサナギへ、そしてチョウとなって舞っている姿を見ることがうれしい」と、るるままさん。トゲは痛いけれど実はとてもかわいく、眺めたりさわやかな香りを楽しんだりしているそうです。春になると、とげとげしい枝からは想像がつかないような愛らしい花を咲かせ、それもまたひとつの楽しみだと語ります。

カラタチの花言葉は「思い出」。るるままさんは娘さんとの思い出を大切にしながら、今年の春も元気なチョウが見られることを楽しみに手入れに精を出していました。

あなたの素敵なお話きかせてください♪ 募集中！

豊里公民館では、町民の皆さんからの「楽しい・面白い話題」の投稿を募集しています。

「ペットがかわいい！」「巨大雪だるまを作った！」「漬物作りがうまい！」「陶芸作品を見て！」など、公民館だよりに紹介したくなる話題を、ぜひお寄せください。投稿様式など詳しくは、下のコードからホームページにアクセスしてください。

豊里公民館

採用された方にはプレゼントも！！

２月実施予定公民館行事

日　時	行　事　内　容	場　　所
１０日(木)　１０時００分	いけ花教室⑤	平筒沼　学習館
１５日(火)　１３時３０分	サケ放流事業(小学５年生)	水辺の公園
２０日(日)　１０時００分	囲碁・将棋サークル	公民館　会議室

公式アカウントができました！

LINEで公民館とつながろう！
イベント情報などを、お届けします！

＠５８８ｍｉｒｉｎで検索

豊里公民館だより　発行：豊里コミュニティ推進協議会　〒987−0362 宮城県登米市豊里町小口前80番地　TEL 0225−76−2237 FAX 0225−76−1946